

ファイト 芦別っ子 ☆6☆

芦別市ソフトテニススポーツ少年団



「練習で苦勞をして試合で笑おう」
勉強、日常生活も「一番」目指す

現在、団員数こそ男女合わせて12人と、決して多くはありませんが、クラス別に団員一人ひとりが「うまくなりたい」、「強くなりたい」と常に向上心を持てるよう、指導者が練習メニューを考えて取り組んでいます。

その成果の表れとして、平成25年度以降、毎年全道大会で上位に入賞し、特に今年3月には、平島・中村ペアが千葉県で行われた第15回全国小学生大会に出場しています。

卒団生の中には、ソフトテニス競技で強豪校といわれる高校に進学し、全国レベルで活躍している選手もいます。

「芦別一」から「北海道一」、さらには「日本一」を目標に、「練習で苦勞をして試合で笑おう」が合言葉。ソフトテニスだけで一番を取るのではなく、勉強、日常生活においても「一番の小学生」を目指して、団員一人ひとりが意識を持って練習に取り組んでいます。

林克俊団長は、「ソフトテニス少年団といえは『芦別』と言われるよう、指導者自身も頑張ります」と話しています。

● 団の概要 ●

設立	平成20年2月
団員数	小学1年生以上 12人 (男子4人、女子8人)
代表者	林 克俊
活動日・場所(時間)	○5月～10月 火・木曜日＝本町テニスコート (午後5時～7時) 土・日曜日＝赤平市営コート (午前9時～午後5時、学年別、コート状況により変更あり) ○11月～4月 学校開放を利用。上芦別小学校、芦別中学校 ○通年 毎週月曜日＝総合体育館 (午後6時～8時30分)
問い合わせ	事務局 (高橋広行 ☎090-5225-1354)

市長日記

No. 13

7月30日、芦別青年会議所主催の「しゃかりき芦別笑店街」が開催され、出席いたしました。このイベントは、芦別駅前前商店街に「にぎわい」のきっかけをつくらうと青年会議所の企画や、五通り商店街の協力をいただき開催されたものですが、露店等市民の手作りで実施されたことや、イベントに参加した子どもたちの楽しそうな顔を見たとき、まちづくりの原点を見た思いがしてとてもうれしく、また敬意と感謝を申し上げるところであります。

8月2日、富良野市で「根室本線対策協議会総会」が、滝川市、赤平市、富良野市、南富良野町、芦別市の各市町長、各協議会議長出席のもと開催されました。同協議会では、毎年JR北海道に対し、根室本線の運行体系の確保、臨時列車の継続・充実について、地域観光資源の一層の活用について、駅舎等の整備についてを要請し、また、北海道と北海道運輸局に対しては、北海道の鉄道体系の在り方に関する要請を行ってきたところであり、今年度もこれらの事項について強く要請していくことが確認されました。

JR北海道にあつては、7月に今後の鉄道事業の見直しを表明したところであり、根室本線もその対象となること懸念されておりますので、今後、同協議会として路線の利用促進に向けた取り組みを行ってまいります。

芦別市長 今野

ひろい 宏